

全国道の駅連絡会からの報告

- ①第4回新型コロナウイルス感染症による経営実態調査
- ②マッチングプロジェクトの展開
- ③4月22日「道の駅の日」の取り組み
- ④賛助会員からの情報提供



2022年3月7日

一般社団法人 全国道の駅連絡会

①第4回新型コロナウイルス感染症による経営実態調査



調査概要

調査方法

- インターネット調査（一部エクセル回収）

調査設問

- 第4回（22問） 第3回（18問） 第2回（23問） 第1回（21問）

配信駅数

- 1181駅

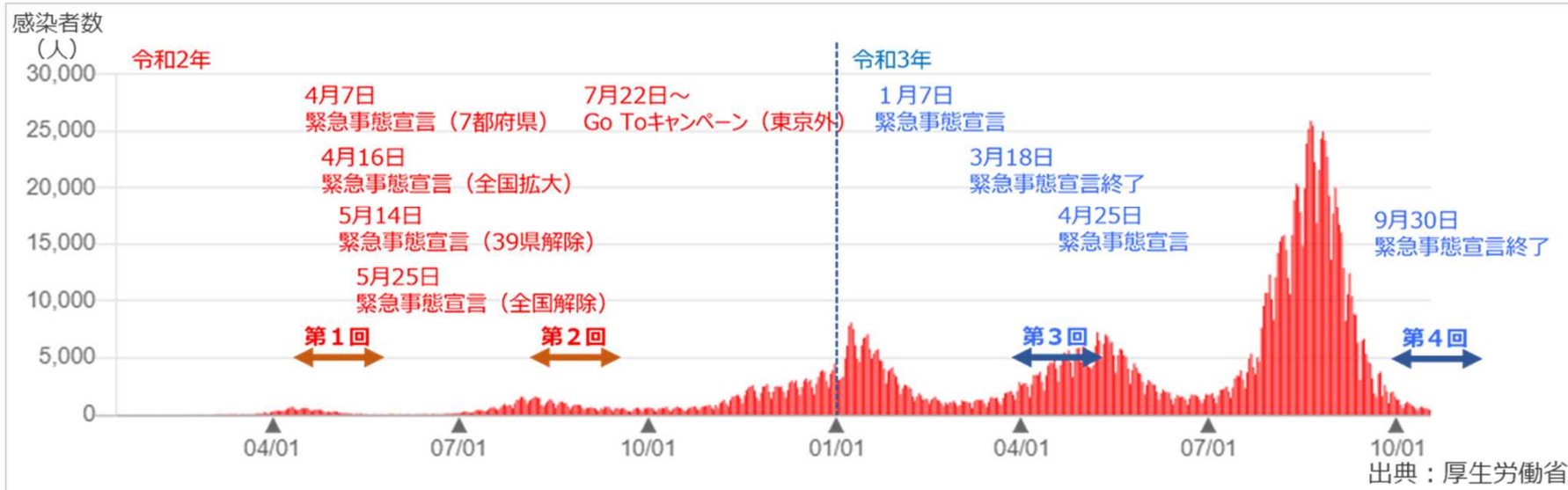
回答駅数

- 第4回（546駅） 第3回（550駅） 第2回（584駅） 第1回（626駅）

実施期間

- 第4回（令和3年10月7日～11月1日）
- 第3回（令和3年4月1日～4月28日）
- 第2回（令和2年9月4日～9月23日）
- 第1回（令和2年4月21日～5月10日）

(参考)
新型コロナ感染
状況



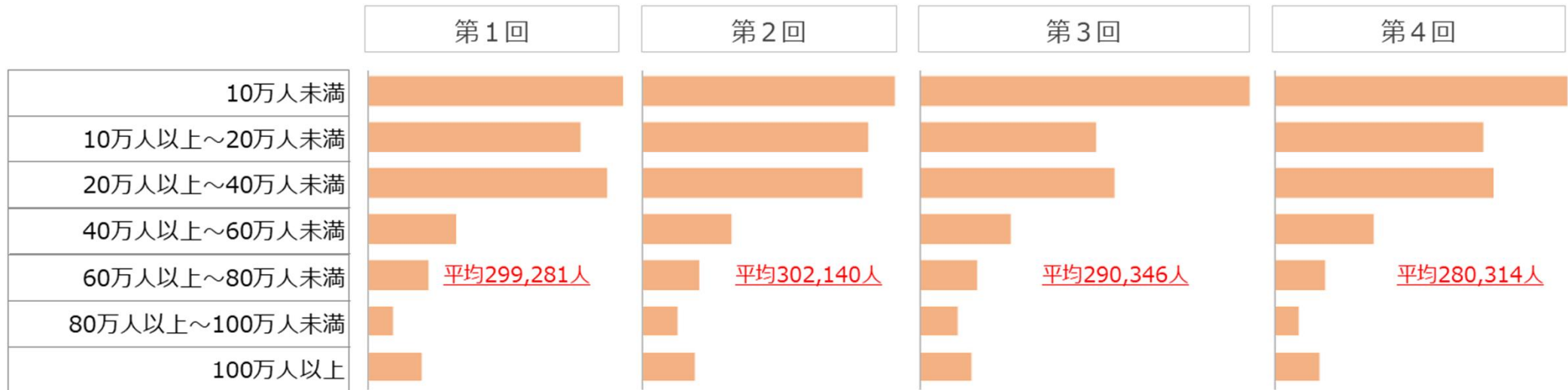


地域、年間来場者数による分布(パネル)

<地方別回答率>

駅数内訳	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	全国
回答駅数 (第4回)	64	73	76	48	81	59	55	29	61	546
回答駅数 (第3回)	59	93	65	41	75	70	43	32	72	550
回答駅数 (第2回)	51	105	58	53	94	66	48	41	69	584
回答駅数 (第1回)	71	98	61	52	101	69	48	52	74	626

<来場者数による回答駅分布>



【算出方法】

平均値 = (階級値 × 度数) の合計 / 度数合計 ※階級値 = (階級の端 + 階級の端) / 2

①売上金額「1千万円未満」の階級値は500万円、「20億円以上」の階級値は20億円で試算

②来訪者数「10万人未満」の階級値は5万人、「100万人以上」の階級値は100万人で試算



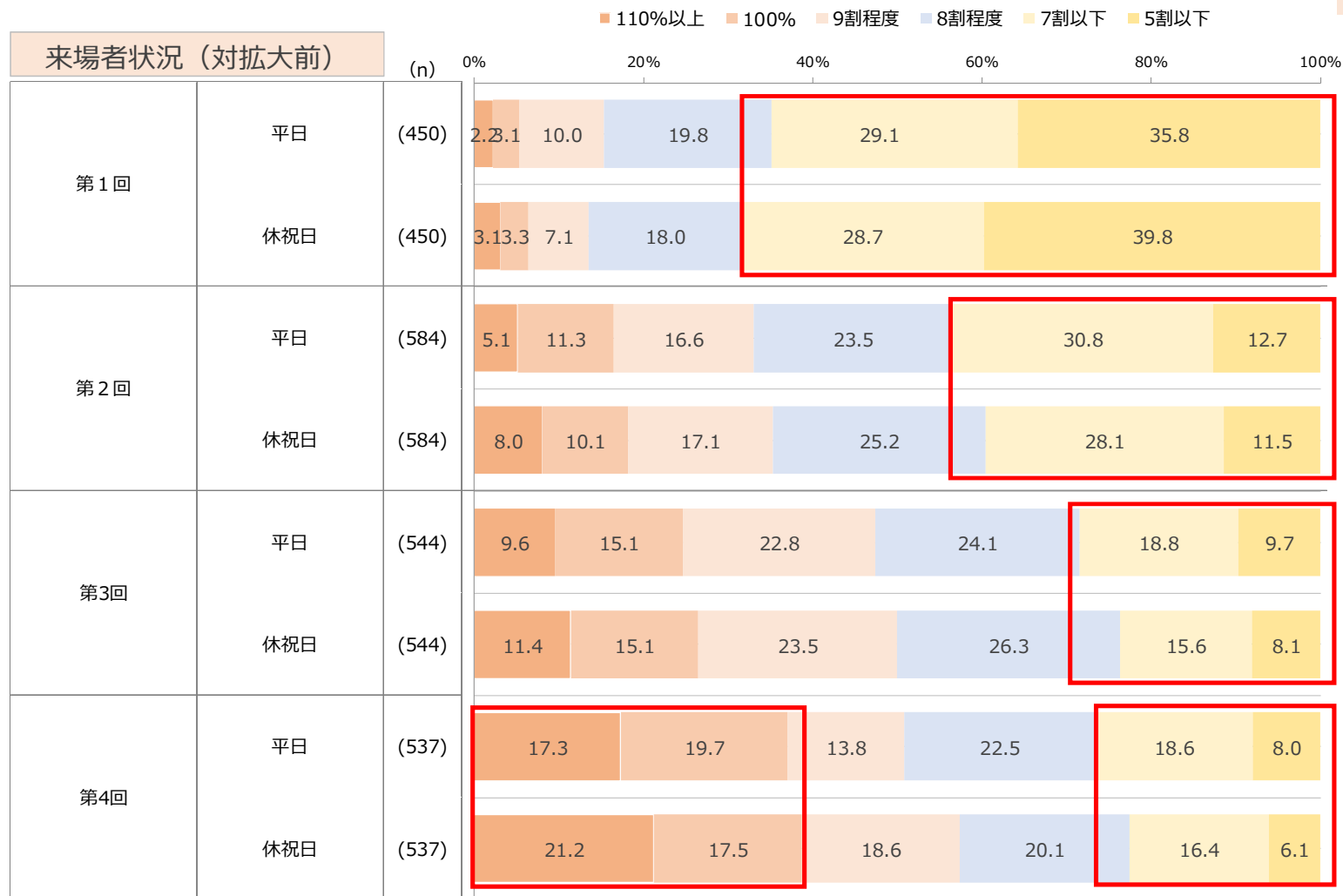
来場者状況（全体）

「7割以下」と回答した駅が**3割未満**、その中で「5割以下」は**1割未満**、一方、「100%」「110%以上」と答えた駅は**約4割**に達しており、はっきりとした回復傾向が認められる。

Q1. 現在の来場者数状況についてお知らせください。（回答はそれぞれ1つ）

【第1回～第4回】

※回答駅ベース





売上状況（駅全体）

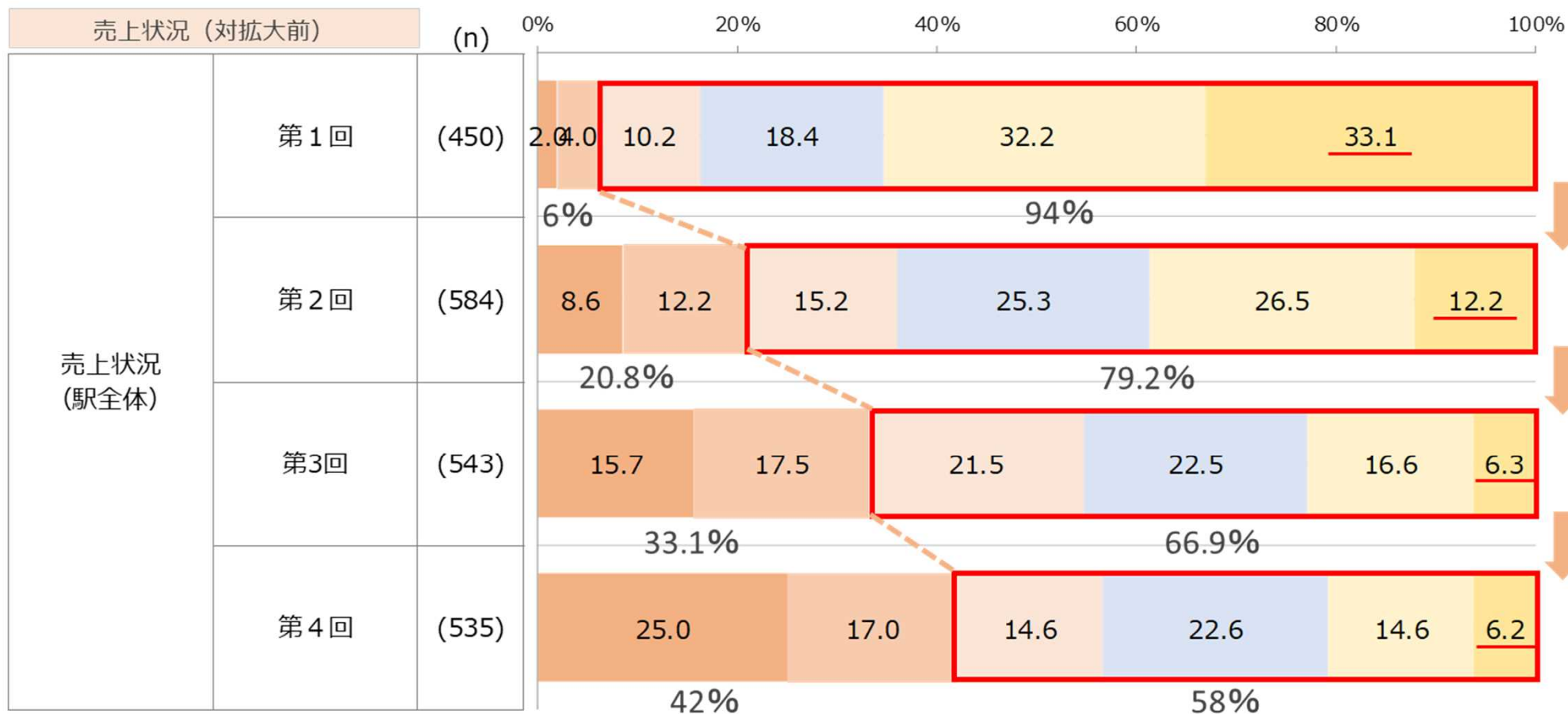
売上減少の駅は**6割未満**、「5割以下」が**6.2%**と、
 第1回の結果（売上減少**9割強**、5割以下**3割強**）第2回の結果（売上減少**約8割**、5割以下**6.3%**）
 第3回の結果（売上減少**6割強**、5割以下**約6%**）に比べ業績回復

Q3. 現在の売上高状況（駅全体）についてお知らせください。（回答は1つ）

【第1回～第4回】

※回答駅ベース

■ 110%以上 ■ 100% ■ 9割程度 ■ 8割程度 ■ 7割以下 ■ 5割以下





新たな生活様式下で「興味・関心を」を持つもの

「トイレ/手洗所のあり方（様式）対応」「キャッシュレス決済」「通販・EC」がトップ3。

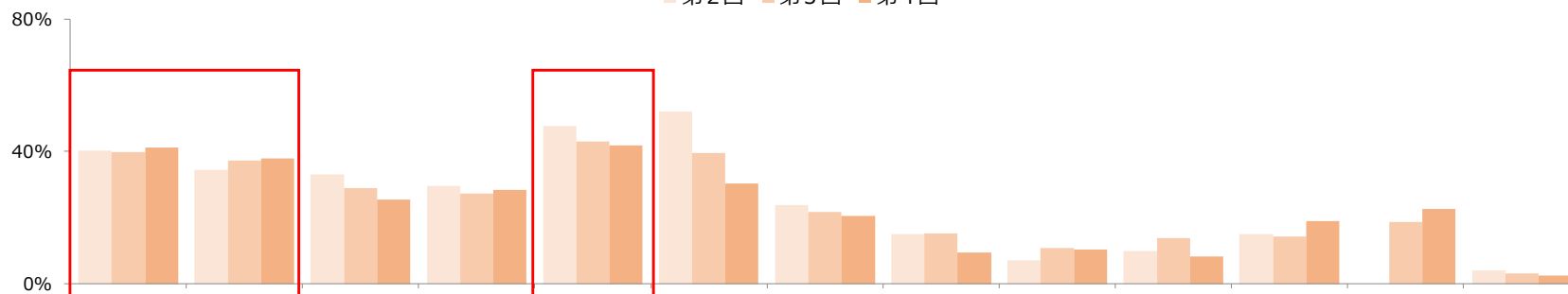
Q8. ニューノーマル（新たな生活様式）に対応する施策として、「興味・関心を」持つものをすべてお知らせください。（回答はいくつでも）

【第2回～第4回】

※第1回は未聴取

新たな生活様式下で「興味・関心を」持つもの

第2回 第3回 第4回



集計母数	キャッシュレス決済	通販・EC	レジ・カウンター周りの感染シールド設置	自動ドアの改修・導入	トイレ・手洗所のあり方(様式)対応	リモグラフィーの設置	顧客動線の見直し(一方通行など)	ドライブスルー販売	ドライブインシアター	道の駅オンライン体験	顧客データ管理・活用	宿泊場などクルマ利用の	その他	
第2回	584	40.2	34.4	33.0	29.5	47.6	52.1	23.8	15.1	7.2	9.9	14.9	-	4.1
第3回	550	39.8	37.3	28.9	27.3	42.9	39.5	21.6	15.3	10.7	13.8	14.2	18.7	3.3
第4回	546	41.2	37.9	25.5	28.4	41.9	30.2	20.5	9.5	10.4	8.2	18.9	22.5	2.6

※第3回より聴取



道の駅の在り方としてふさわしいと思う取り組み

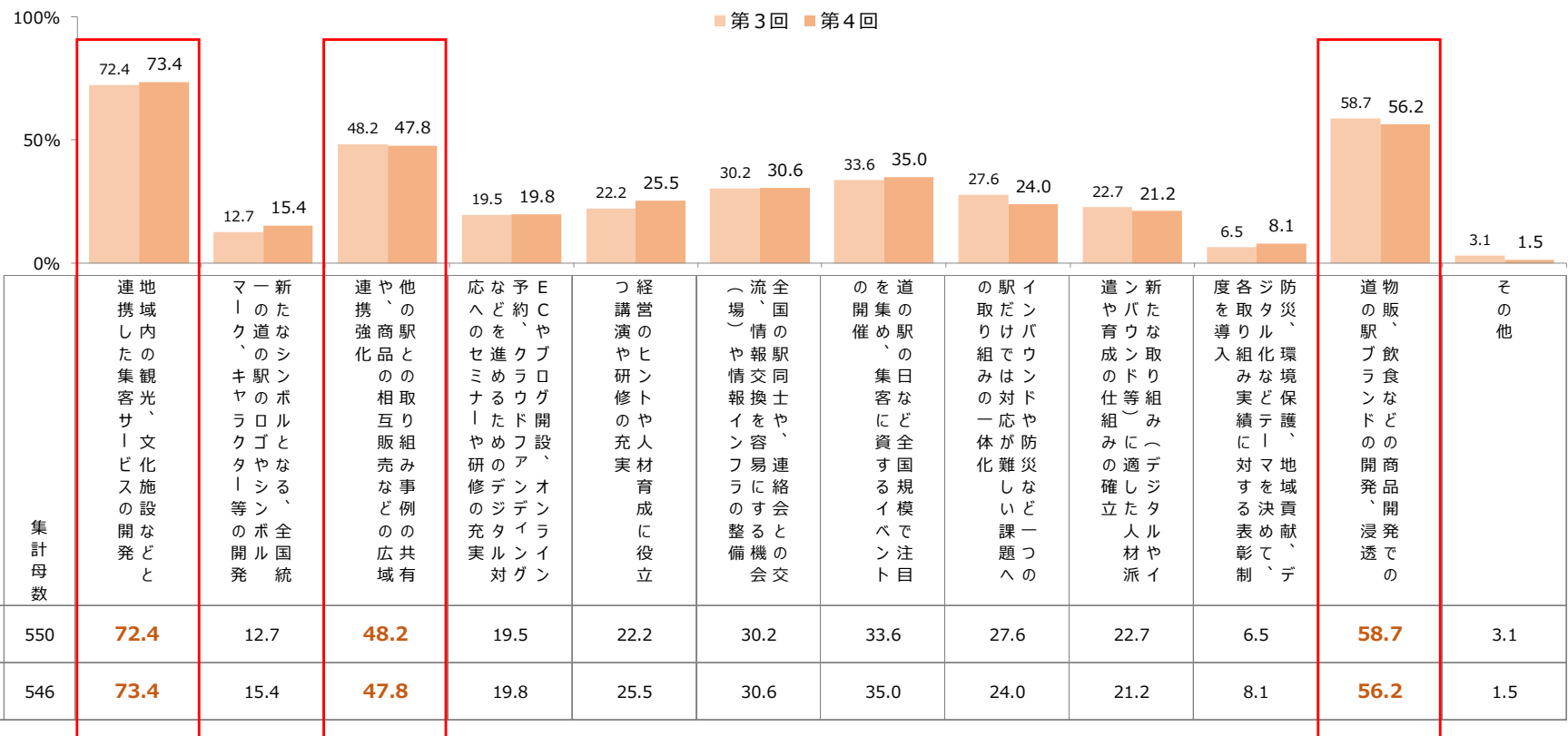
「地域内の**観光・文化施設との連携**」が一番高く、
 続いて「物販・飲食などの道の駅ブランドの開発」「**道の駅間のエコ連携**」が続く

Q9. 今後の新しい道の駅の在り方として、「ふさわしいと思う取り組み」をお知らせください。（回答はいくつでも）

【第3回～第4回】

※第1-2回は未聴取

道の駅の在り方としてふさわしいと思う取り組み





道の駅横連携現状と今後の意向

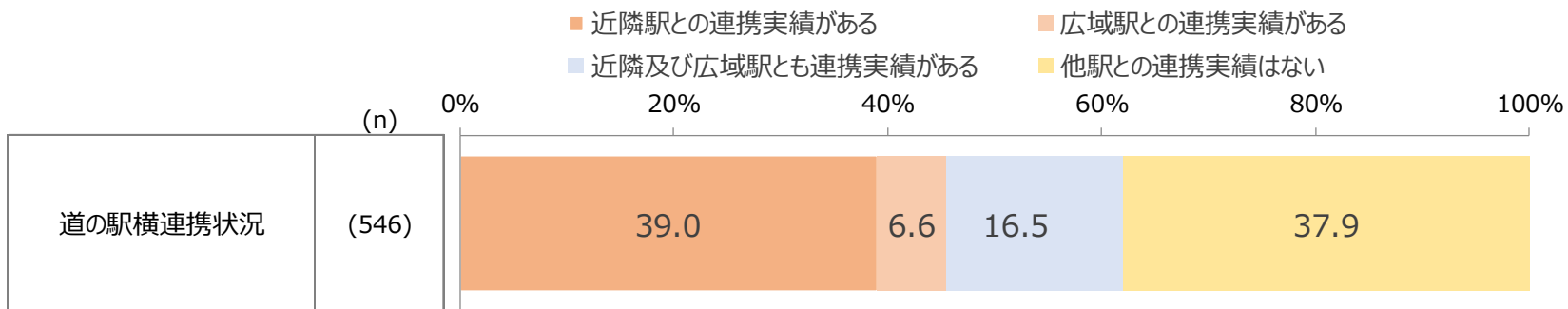
横連携実績がある駅は**6割強**。その中で「近隣駅との連携」が**約4割**、「全国範囲連携」が**2割強**
今後の横連携意向は**約9割**と、横連携への期待が高い

Q10. 現在の道の駅同士の横連携（近隣・広域）について、お知らせください。（回答は一つ）

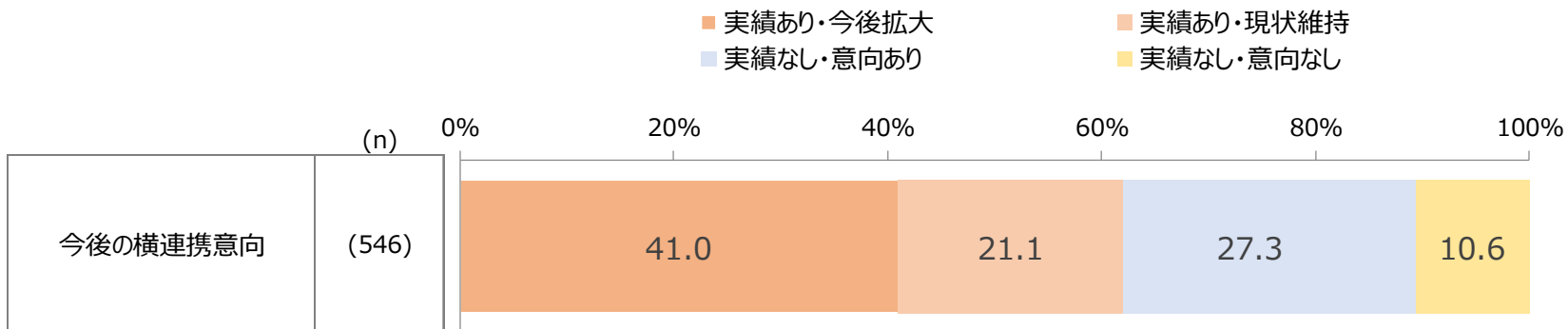
【第4回】

Q11. 今後の道の駅同士の横連携（周辺・地域・全国範囲）について、どのように思いますか。（回答は一つ）

※第1-3回は未聴取



連携実績あり	連携実績なし
62.1	37.9



連携意向有り	連携意向無し
89.4	10.6



道の駅同士横連携の内容やパターン

「イベント情報の共有・相互発信サイト開設・運営」「地域特産品を原材料にした**新商品開発**」
「全国道の駅**共通ポイントカード/ポイントプログラム**」がトップ3

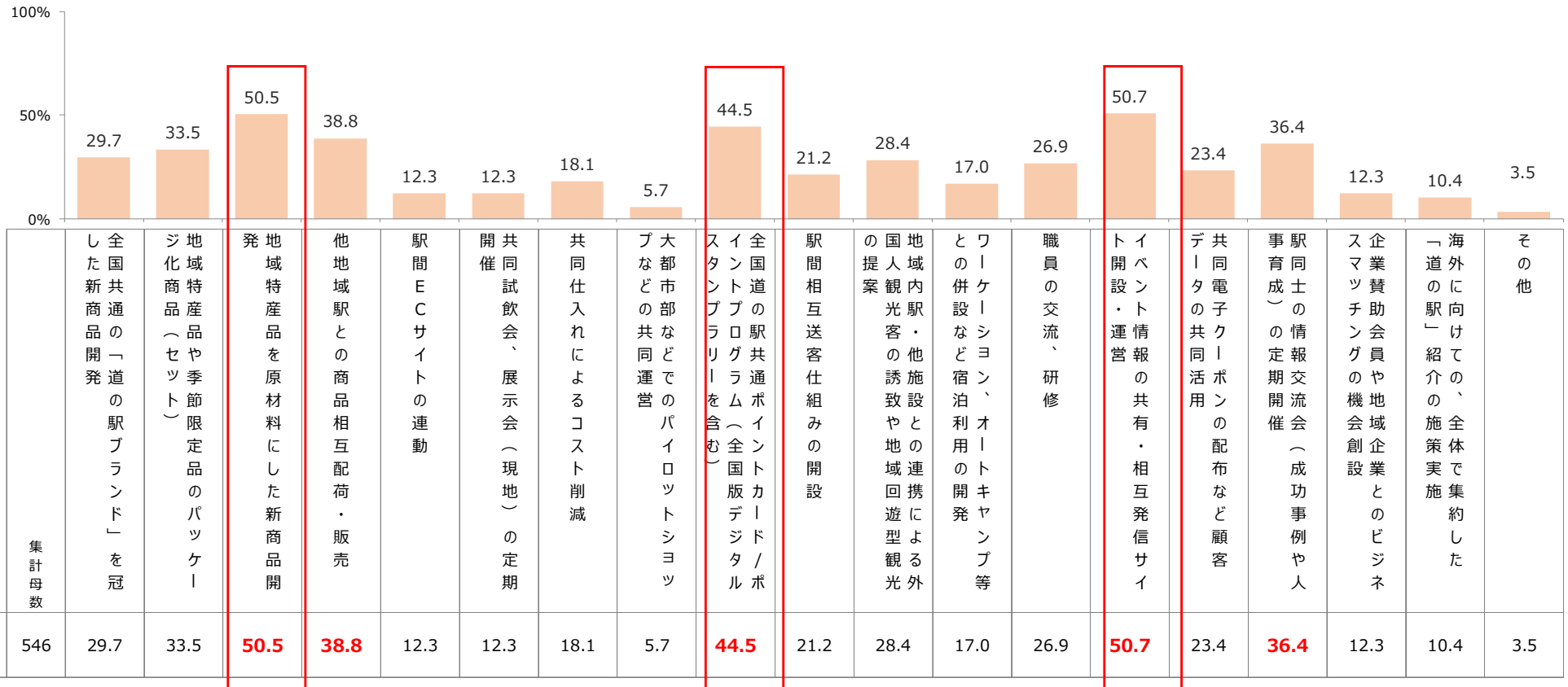
Q12. 道の駅同士の横連携（周辺・地域・全国範囲）の内容やパターンとして、望ましいと思うものをすべてお知らせください。

【第4回】

※第1-3回は未聴取

（回答はいくつでも）

道の駅横連携内容・パターン



②マッチングプロジェクトの展開



マッチングプロジェクト（概要）

【目的】

- ・道の駅が直面する課題・ニーズと、それを解決する可能性のある企業（賛助会員）のシーズ（技術・製品）を情報交換・共有するための機会をオンラインを活用しながら設けて実施し、マッチングに結び付けていく。
- ・第1回目のテーマは「防災」。ニーズ・要望編とシーズ・提案編を1セットとして実施。

【実施概要】

全国道の駅ニーズ&シーズマッチングオンラインミーティング

●ニーズ・要望編

- ・開催日時：令和3年9月21日（火）14時30分～16時30分
- ・開催方法：Teams
__国交省インフラDXルームより配信
- ・参加人数：約250名
（道の駅関係者約200名、賛助会員約50名）
- ・発言駅：13駅（事前登録制）

●シーズ・提案編

- ・開催日時：令和3年10月21日（木）10時45分～13時00分
- ・開催方法：Teams__愛知県幸田町民会館より配信
- ・参加人数：約200名（道の駅関係者約150名、賛助会員約50名）
- ・提案企業：10社





マッチングプロジェクト（成果と今後の展開）

【成果】

- 道の駅の困りごと、現場の声の共有の場
 - ・（ニーズの例）災害時のトイレの確保、災害時の対応マニュアル作成、訓練、BCPの作成、非常用電源、飲用水等の防災に関するインフラ整備が必要等々
- 賛助会員企業の商材を知るきっかけの場
 - ・（シーズの例）災害対応トイレ、防災イベント、防災情報システム、地図ポータルサイト、無停電LED EV充電ステーション、水道不要の手洗いスタンド、浄水器、防災備品、トレーラーハウス
- 道の駅から資料請求依頼、問合せを賛助会員へフィードバックし商談化（約30件）
=> 具体マッチングは未成立なるも、賛助会員と道の駅で継続的にやり取り

【今後の展開】

- 道の駅側からのニーズの要望については、今後常時受け付ける予定
=> HP等を活用し、賛助会員へ情報提供
- 賛助会員のシーズについては、四半期に1回を目途にオンライン提案会議を定期的に開催（次回R4.4開催予定）
- マッチングの成果については、四半期に1回コンフィデンシャルレポート等で情報共有

③4月22日 「道の駅の日」の取り組み



R4年「4. 22道の駅の日」関連行事 実施概要（案）

●実施目的

- ・4月22日「道の駅の日」の告知、周知
- ・道の駅間、道の駅と賛助会員等による情報共有、つながり（連携）を強化
- ・道の駅の日を機にイベント等を実施する各道の駅に対し、集客や販促に資する側面支援を行う

●事業内容

- ①「全国オンライン駅長サミット2022」（継続事業） ※4/22開催
・道の駅関係者による情報共有・意見交換の場（基調講演・リレートーク・オンライン座談会他）

全国の道の駅「道の駅の日関連イベント」への側面（現地）支援（賛助会員）

- ◆対象：道の駅の日(週間)にイベントや催しを行う道の駅（公募制）
- ◆支援メニュー（共通）：「道の駅の日」告知のぼり旗やポスター等の提供

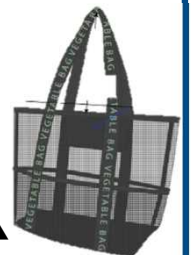
のぼり旗
イメージ（案）▶



- ②「道の駅利用のドライバーへのリフレッシュ」啓発事業(サントリー様協賛)
・ノンアルコール飲料（オールフリー）の無償提供（50-100駅）

- ③「全国道の駅農産物販促プロモーション」事業（明治安田生命様特別協賛他）
・ノベルティの無償提供（野菜の種、野菜鮮度保持袋/ 100-150駅）
・賛助会員開発の農産物関連「道の駅オリジナル商品」のテスト販売

道の駅オリジナル：
エコバッグ（案）▲



④賛助会員からの情報提供

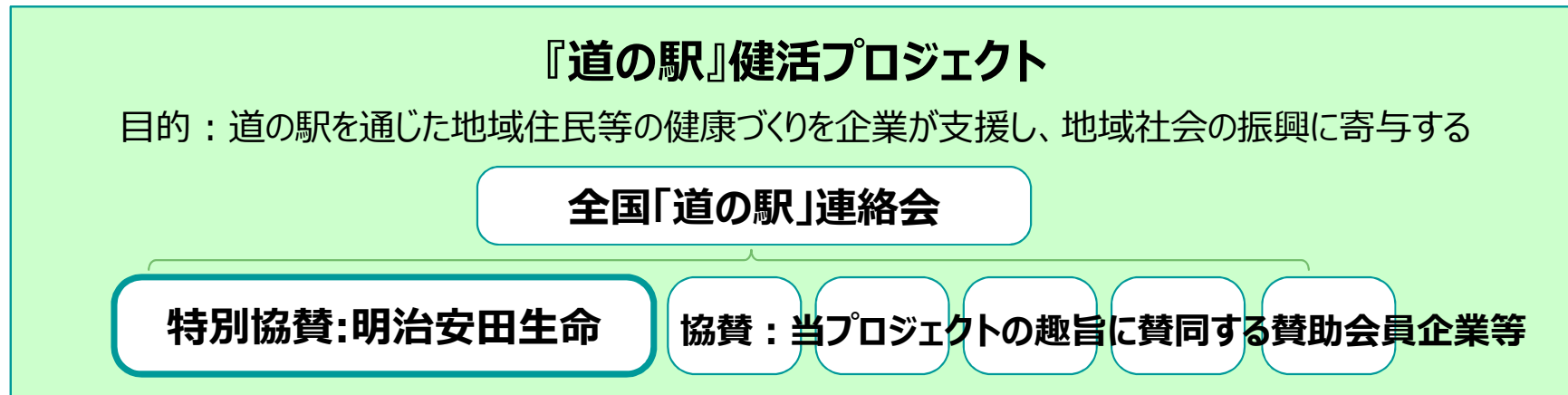


『道の駅』健活プロジェクトのご紹介

明治安田生命保険相互会社
地域リレーション推進部

1. 『道の駅』健活プロジェクト ～概要～

- 2020年6月に、全国道の駅連絡会と『道の駅』健活プロジェクトを創設
- 本プロジェクトでは、「地域住民の生活拠点」として重要な役割を果たす道の駅関係者に対して、「健康増進」をテーマとした活動を支援することを目的に、地域活性化に資する取組みを展開



① 道の駅の公募・個別選定依頼

- ・本プロジェクトの目的に賛同する道の駅を募集
- ・連絡会を通じた個別依頼

② 応募・審査

- ・道の駅が展開したい健康活動事業を応募
- ・応募事業の審査を行ない、事業を展開



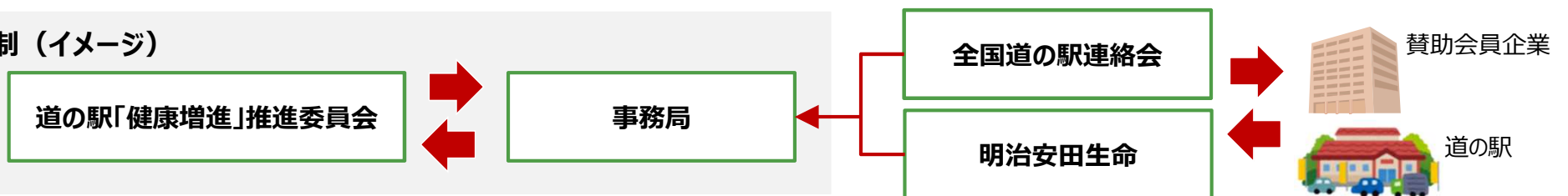
主な支援内容

- 道の駅関係者（駅従業員、納入企業・生産者）への感染症等の安全管理対策・福利厚生等の支援
- 道の駅イベントへの協賛（健活ブースの出店等）を通じた健康増進支援
- 道の駅と親和性のある他企業・団体との協業による地域住民の健康づくり支援

1. 『道の駅』健活プロジェクト～道の駅「健康増進」推進委員会～

名称	道の駅「健康増進」推進委員会
設置趣旨	「『道の駅』健活プロジェクト」に関する諸施策の適正かつ公平な運営を行なうことを目的に設置
審議事項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「『道の駅』健活プロジェクト」実施事項のPDCA管理 (2) 本プロジェクトに参加する賛助会員の審査 (3) 本プロジェクトに参加する、道の駅および賛助会員による活動計画案の審査 (4) その他、本プロジェクト運営に関する事項
体制	<p>委員長 楓 千里 氏 (國學院大學 研究開発推進機構 教授)</p> <p>委員 甲斐 裕子 氏 (明治安田厚生事業団 博士 (人間環境学))</p> <p>委員 加藤 文男 氏 (株式会社ちば南房総 代表取締役副社長、観光庁観光カリスマ「道の駅と広域連携のカリスマ」)</p> <p>委員 大島 信之 氏 (明治安田生命保険相互会社 ブランド戦略部 地域貢献推進室長)</p> <p>委員 阿部 悟 氏 (一般社団法人 全国道の駅連絡会 業務執行理事)</p>
委員会の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・本委員会は、4カ月に1回程度開催 (審議事項の内容によっては書面開催) ・開催場所は、連絡会事務局または明治安田生命本社 (当面は、社会情勢を鑑みてリモートでの実施) ・本委員会の運営にあたっては事務局を設置。事務局は、会議の設営、審議事項の整理、議事録作成その他委員会の運営に関する事務を実施

運営体制 (イメージ)

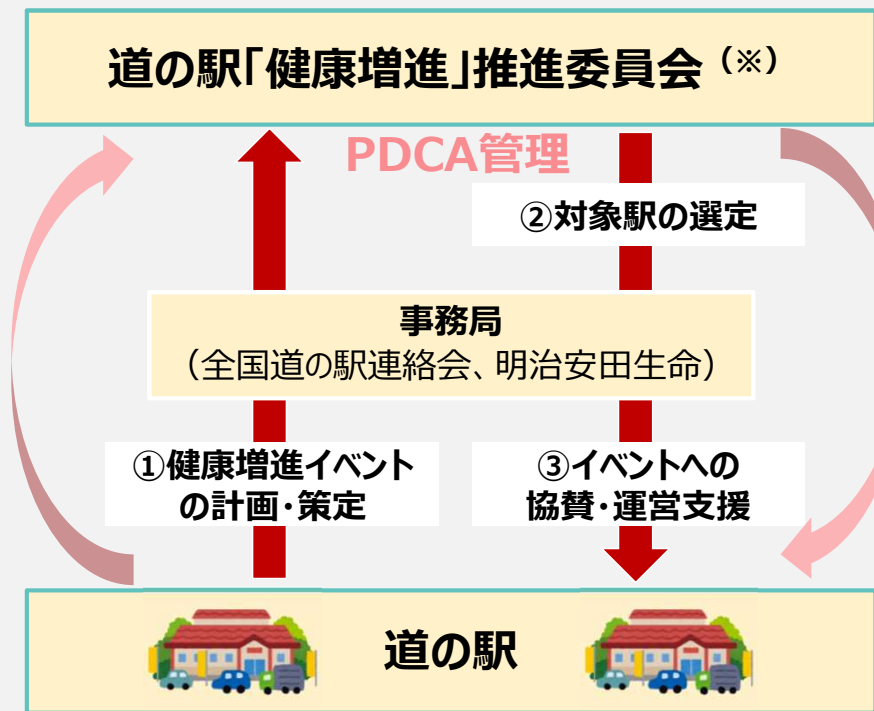


2. 道の駅イベントへの協賛・運営支援 ～「健康増進活動支援制度」の概要～

概要

- 道の駅で行なわれる**イベントの活性化**や**参加者の健康増進**を目的に、**イベントへの協賛・運営支援**を実施
- イベント協賛にあたっては、各駅からのイベント計画を道の駅『健康増進』推進委員会（※）が審査のうえ決定し、各駅のイベント支援を実施（開催内容に関する検証・改善対応も委員会にて共有）

「健康増進活動支援制度」の運営（イメージ）



①イベントの計画・策定（計画書の提出）

全国道の駅連絡会が配布する「イベント計画書（申請書）」に必要事項をご記入のうえ、道の駅「健康増進」推進委員会事務局あてにメールにて提出

②対象駅の選定（申請内容の審査）

申請された内容をもとに「『健康増進』推進委員会」が審査・選定を行ない、事務局から審査結果をメールにて通知

③イベント協賛・運営支援（協賛金支給）

選定された駅に、明治安田生命の職員が訪問し、具体的な支援の実現方法について、打ち合わせを行ないながら、道の駅での健康増進イベントに向けた準備を実施

（※）「『道の駅』健活プロジェクト」に関する諸施策の適正かつ公平な運営を行なうことを目的に、有識者による委員会を設置

2. 道の駅イベントへの協賛・運営支援 ～健康増進イベント（イメージ）～

	内容
道の駅周年イベント×健康測定会	毎年実施している周年祭の1企画として、簡易健康測定会を実施
スポーツイベント	スポーツイベントを道の駅で実施
道の駅スタンプラリー×健康測定会	県内の道の駅をめぐるスタンプラリーイベント時に、簡易健康測定会を実施
定期イベント×健康関連体験会	ヨガ教室や、健康を意識したレシピを紹介する料理教室等を開催



道の駅の近隣の明治安田生命職員がイベントの企画・運営を支援



血管年齢測定や野菜の充足度等を図る「健活ブース」を設置し、健康測定会を実施



2. 道の駅イベントへの協賛・運営支援 ～応募件数および連携駅数の推移～

取組状況

- 第1回公募（20年12月）から通算で532件の応募を受けつけ、累計で581駅との協働取組みを実施
- 本プロジェクトにおける「健康増進」をテーマとした活動が各駅に幅広く浸透しており、地元の企業・団体との連携強化等にも貢献できていると推察

<応募件数および連携駅数の推移>

	第1回公募 (2020/12～3)	第2回公募 (2021/5～7)	第3回公募 (2021/8～11)	第4回公募 (2021/12～3)	累計
応募件数	43件	48件	263件	178件	532件
連携駅数※1	104駅 (+61駅)	57駅 (+9駅)	344駅 (+81駅)	200駅 (+22駅)	581駅※2
<参考> イベント来場者数	18.7万人	11.0万人	71.4万人	8.8万人	110.1万人

(※1) 「連携駅数」は、応募駅と連携して本プロジェクトに参画した駅数（例：スタンプラリー企画等で参画した駅）

(※2) 「連携駅数」の累計は、各公募に重複申請した駅数を除く

2. 道の駅イベントへの協賛・運営支援 ～健康増進イベント事例、他団体等との連携事例～

- 各道の駅のイベント支援時における健康増進施策のうち、約 8 割が当社提供の健康機器コンテンツを活用
- 他団体等との連携は自治体等の「行政」が最も多く、次いで「民間企業」となっており、観光・特産品PR等の地域活性化に向けた取組みが多数

健康増進イベント事例

分類	連携数	イベント事例
応募駅数	532件	—
測定会 ※1	465件	・野菜摂取量測定 ・血管年齢測定
体験会	78件	・ラジオ体操 ・餅つき、収穫体験
スポーツ大会	49件	・サイクリング ・ウォーキング、シニアゴルフ
セミナー	34件	・健康的な体作りのセミナー ・親子の健康セミナー

他団体等との連携事例

分類	連携数	主な連携先（連携事例）
他団体等との連携数※2	346件	—
行政	240件	・自治体（特産品・観光PR）
民間企業	191件	・旅行会社（観光PR） ・近隣地元企業（特産品PR）
保健所	22件	・健康的な体作りのセミナー ・新型コロナ感染症予防チラシの配布
その他	122件	・地元NPO法人（セミナー講師等） ・地元大学

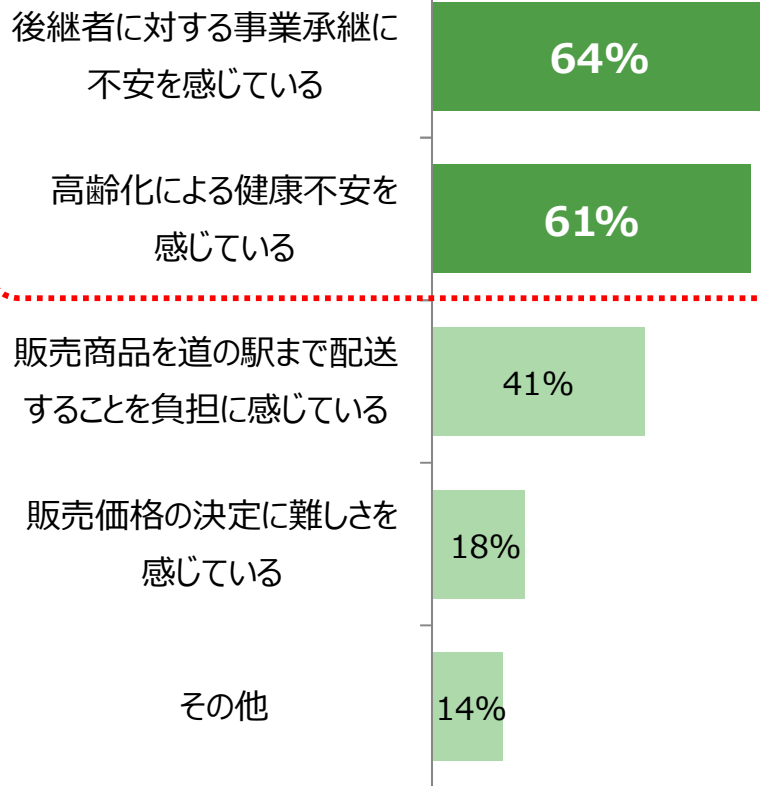
（※ 1） 当社提供の健康機器コンテンツを活用

（※ 2） 健康増進イベント内容、および他団体等との連携数は延べ件数にて算出

3. 『道の駅』健活プロジェクト～今後の展開（道の駅関係者のご支援）～

■ 納入生産者との連携取組みの増加や、健康増進支援等の需要を受けて、道の駅関係者向けの支援策の展開を検討

道の駅の納入生産者が抱える課題



従業員や納入生産者の方々が健康面で気になること

- ✓ 高齢化による**将来的な健康が不安**
- ✓ シフト勤務で不規則な生活であるため、**身体の負担を解消する運動・体調管理方法**などの提案や、**食生活アドバイス**が必要
- ✓ 立ち仕事が多いため、**膝・腰に不安を抱える人**が多い

「道の駅」健活プロジェクトへのご意見

- ✓ 健康測定会は大好評です。**本プロジェクトを知らない生産者が圧倒的なので、ぜひ周知してほしい**
- ✓ 道の駅ならではの**新鮮で美味しいとれたて野菜が届けられる支援企画**を期待
- ✓ 道の駅が**簡易健康診断やコミュニティの場**になれるとよいのではないかと

[出典] 事務局が道の駅に実施（22年2月）したアンケート結果（回答数：264駅）

今後は、納入生産者をはじめとした道の駅関係者向けの支援策を検討



全国道の駅連絡会 × 産直アウル これまでの取り組みのご紹介

レッドホースコーポレーション株式会社

産直アウルのご紹介

Our Mission

自立自走可能な地方創生の実現

私たち産直アウルは、たまたま現在の形をとっているだけに過ぎません。

生産者の皆さまが、地域の産業が、日本中が、本当の意味で輝くための原動力になりたい！
そのために様々な分野を視野に入れつつ、第一歩を踏み出しています。

従来の制度や補助というあり方では、真の地方創生は実現できないと考えています。
私たちは、生産者や地域にとって価値あるプラットフォームを生み出すことで、
地域創生の在り方を再定義することを目指しています。

産直アウルについて

思いやこだわりを畑から直送。産直アウルは、生産者の皆さんが食材を直接消費者に販売できるネット上の産地直送サービスです。

アウルって？

アウルは、あなたが作ったこだわり食材を消費者にアプリで販売できるサービスです。
「市場を通さない直接販売」を24時間365日、どこでも手軽に行うことができます。



生産者

スマホで気軽に
物品を出品



気に入った商品を購入





飲食店・消費者

[アプリをインストール](#)



登録料・出品料
0円

※商品が売れた時に、販売手数料として10%を頂戴します。

市場を通さない直接流通

農協や卸売業者を通さず、直接消費者に届けることができます。

従来の流通ルート



OWL なら



生産者

販路や
仕入れ先の
開拓

手数料削減
利益を確保

食材の良さを
アピール
疑問を解消



一般消費者

従来の農水産品の流通は、多くの中間業者によるマージンが発生しています。

手ごろな価格で店舗や消費者に届く事を引き換えに、生産者側の利益は低くなり、農水産品の生産者は、しわ寄せを受ける形となっています。

市場を通さない直接流通

産直アウルは全国の消費者と直接取引できるサービスです。
従来の取引のように**複雑な流通ルートを通りません**。
そのため、販売までにかかる手数料を削減し**これまで以上の利益獲得**を狙えます。



産直アウル 3つの特徴

- ① 初期費用無料かつ送料・手数料が業界最安水準
- ② 専用アプリにより出品負荷の軽減
- ③ TVCMをはじめとした、積極的なプロモーションの実施

全国道の駅連絡会 × 産直アウル 取り組みのご紹介

おうちで道の駅 朝採れマルシェ



その土地ならではの文化や色を映し出す
道の駅で販売されている新鮮食材をいつでもどこでも楽しめる
道の駅の農産物共同通信販売事業

具体例 オーロラタウン93りくべつ



りくべつ鹿ジンギスカンセット (マイルド・ピリ辛 各1袋)
 内容量: 500g × 2袋 [この商品のごちそうを見る](#)

北海道 陸別町
 陸別町観光物産館・道の駅オーロラタウン93りくべつ
 ★★★★★ 4.81 (54件)

2,000円 (税込・送料別)
 3/15頃の発送
 ※天候等により前送する場合があります。

アウル配送 (ヤマト運輸)
 ※本商品にはクール便料金220円~が別途加算されます
 【出荷方法】冷凍・宅急便60サイズ(2kgまで)
 【出荷可能日】月、火、水、木、金
 【納期指定】不可

地域別送料 [開く](#)

[カートに追加](#) [注文手続きへ](#)

[♡ お気に入りに入れる](#)

日本一寒い町りくべつ産エゾ鹿肉を陸別産ブルーベリーを使用した特製タレに漬け込んだジンギスカンセット。

このような、その土地ならではの商品が数多く出品されています。

また、オーロラタウン93りくべつは非常に人気が高く、レビューも4.8と高評価。

これまでの成果

参加道の駅

23駅

累計売上

700万円超

1 駅の単月売上

100万円超

※2022年3月現在

**20年12月～22年1月までは社会実験期間
今後の運用で、参加道の駅の数・売上のさらなる増加を目指す**

今後の取り組み

道の駅連携 定期便

各地の旬の食材が、毎月届く定期便を実施。
3ヶ月コースの頒布会のように販売予定。

展開イメージ案

1つの旬の食材をテーマに、さまざまな地域から出荷し、その違いを楽しめる。
例えば、山梨・福島・和歌山といった異なる地域から桃が毎月届く。

道の駅登録促進

ECモールと連携することで、
1度道の駅に訪問したお客様と定期的な接点を持つことができる。

適切に接点を持つことで、
道の駅への再来訪につながる。
この価値を改めて各道の駅に理解いただき、積極的な参加を促進する。